

平成 25 年度 第 5 回 『会員情報交換会(三日会)』

(2月7日/セレス相模原〈橋本〉)

『会員情報交換会』の第5回を橋本駅近くの「セレス相模原」で開催した(参加40名)。開会にあたり小俣会長から「いつも横浜・川崎周辺での開催なので、今回は、相模原市の小星副市長に話題をご提供いただくお願いをしてお快諾いただいた。さがみ縦貫道やリニア新幹線と大きな話題に注目したい」との挨拶があった。

小星副市長からは、「相模原市の今後の展望について～首都圏南西部における広域交流拠点都市～」と題して、お話をいただいた。



■相模原市の概況

・人口は中央区・南区・緑区を合わせて約72万1千人、横浜市・川崎市について県下で3番目、全国では18番目。

・面積は横浜市に次ぐ2番目の広さで約328k㎡。

■リニア中央新幹線と新駅周辺の整備

・橋本駅周辺地区のまちづくりの方針

○広域的な交流・連携のゲートとして

○イノベーション拠点として

○情報発信拠点として

○環境共生・人の暮らしに配慮したまちづくり

・小田急多摩線延伸で首都圏南西部の交通ネットワークの充実と利便性の高い公共交通網の形成。

・相模原駅周辺地区のまちづくりの方針

○多様な交流、○産業・文化創造、○環境共生、

○安全・安心のまちづくり

・首都圏内陸部の広域的な防災拠点…首都機能及び広域防災機能のバックアップとしてのまちづくりで相模原市の役割を国に提案。

■広域道路網及び新たな産業拠点の整備

・圏央道～さがみ縦貫道路の活用

・津久井広域道路の整備

・当麻地区、麻溝台・新磯野地区、川尻大島界地区、金原・串川地区への企業誘致促進

■相模原市の工業

・首都圏経済を支える生産、研究拠点、物流拠点

小星副市長のお話のあと、高島副会長(ナイス(株)常務取締役執行役員)から懇親会開会の挨拶があり、相模原市の野村都市建設局長から乾杯のご発声をいただいた。懇親会では、市の幹部及び会員相互で名刺交換を行い、会社情報や経営状況を紹介し合ったりしながら盛り上がり、澤田理事(プロフェッショナルネットワーク)の閉会挨拶で終了した。